

No.	10-2-15	場所	駒ヶ根市中沢桃ヶ平		次世代への継承キーワード
名称	桃ヶ平付近の百々目木川の氾濫				前兆現象
災害現象	洪水氾濫				河川 新宮川
補足事項	あっという間に押し迫る土砂と水				支流 百々目木川

概要

上流でがけ崩れが約390ヶ所で発生し、土砂が新宮川に一気に流れ込んだ。竜東（伊那山地）では駒ヶ根市中沢新宮川、百々目木川流域一帯で、死者・行方不明5名、被災人員558名に及び人的被害と家屋や発電所の倒壊、橋の流失等の建物にも被害が生じた。

百々目木、大洞地区などでは、土石流によって60戸以上が流出全壊、農地のほとんどが失われた。

●体験談：災害時 上割桃ヶ平大角上に在住の方

<6月27日の夕方>百々目木川の増水も急で沢を埋め尽くすようになった。濁流の中で石と石がぶつかり合い火花が散る。上流の家が流されたか、屋根や壁のようなものが流されていく。大きな木が立ったまま通り過ぎる。轟音が谷間に響く。(略) 一時間くらいたった頃か生臭い臭いが一面にした。そして、沢の上の方で変な音がした。外へ出た瞬間、見たものは、三階建てのビルが覆い被さってくるような黒い塊、山津波だった。(略) 野宿で明けた朝、周りを見渡して愕然、百々目木川沿岸が視界を遮るものが何もなく、二キロ位の下流まで泥岩で沢が埋め尽くされていた。対面の山肌からは大量の水が噴水のように三米位の高さまで噴き出しており、約半日続いた。

(中沢公民館文集「溪聲」36災害特集号p.34.35)

記録



桃ヶ平付近の百々目木川の氾濫

出典	「駒ヶ根市の災害史」p.7/ 中沢公民館文集「溪聲」36災害特集号p.34.35				
備考	概要欄の< >は編者が補足説明したものです。				

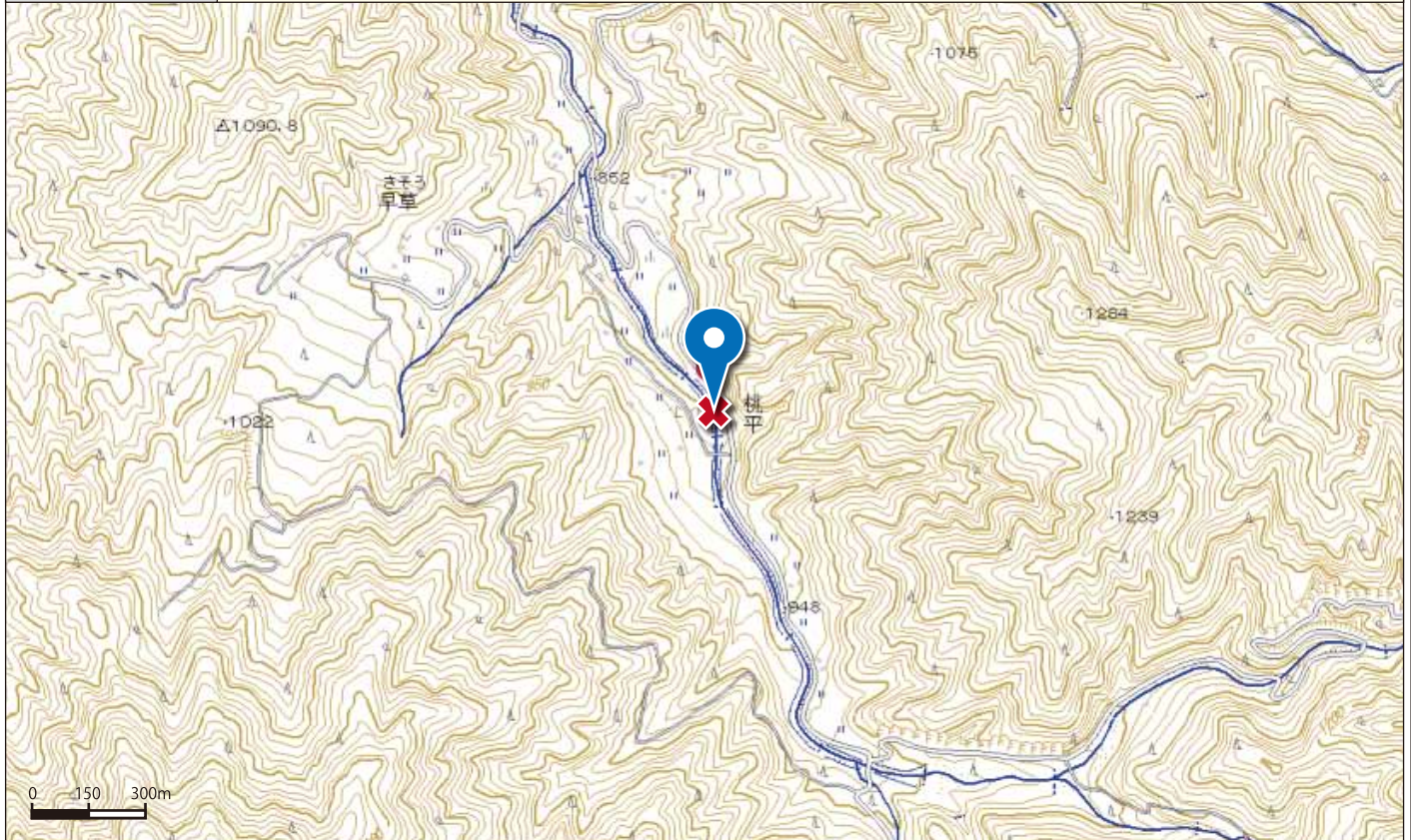
No.	10-2-15	場所	駒ヶ根市中沢桃ヶ平	緯度	35.689579
-----	---------	----	-----------	----	-----------

名称	桃ヶ平付近の百々目木川の氾濫	経度	138.011820
----	----------------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---